学校だより

津久戸

平成２８年１月８日

１月号　新宿区立津久戸小学校

新しい年を迎えて

校長　八田　瑞穂

明けましておめでとうございます。初詣、年始回りと楽しいながらも、子どもたちは多くの貴重な経験を積んだことと思います。昨日は七草粥でした。７種類の若菜を家庭で用意するなどできませんが、スーパーに並んでいるのを見つけ、粥に炊き込んで食べたことでした。

自立への離陸　～２年生～

二年生の子どもたちの様子を眺めておりますと実に様々な楽しい学習をしてきています。２学期だけでも水泳、遠足、おもちゃランド、音楽会、焼き芋、まちたんけん等です。日々の教室や校庭でも九九や音読、スポーツギネスなどに取り組んでいます。

その中で二つのことを、お話したいと思います。

一つ目は身近な人々や社会や自然との関わりでの中から社会や視点を見つめる視点が広がったということです。生活科の「おもちゃランド」では一年生を招待しました。自分たちだけのお楽しみから、どうやったら一年生が喜んでくれるかも考えたことです。また、「もっとなかよし　まちたんけん」では家庭から地域に視点を広げます。視点の広がりは、三年生では新宿区、四年生では東京都となります。

二つ目は自分自身や自分の生活について考えたということです。自分自身が関わった対象と自分との関わりを深め、対象の変化や成長に気付くことで自分自身の気付きが生まれ成長していきます。ザリガニの世話を続けることで、自分自身の成長に気付き、また友だちと協力してうまくいったことから、集団の中の自分自身に気付く、さらには仲間意識が育つこともあるでしょう。また、九九が友だちより早く覚えられなくて悔しい思いをするという葛藤もあるでしょう。その葛藤も乗り越えてほしいのです。

生活科の教科目標である「具体的な活動や体験を通して、自分と身近な人々、社会及び自然とのかかわりをもち、自分自身や自分の生活について考えさせるとともに、その過程において生活上必要な習慣や技能を身に付けさせ、自立への基礎を養う。」とある通りです。「学力」とは「生活する力」です。

自立への基礎を養うことが大事です。新しい年を迎え、大人も子どもも決意を胸に秘めていることでしょう。自分のよさや可能性に気付き意欲や自信をもって三年生へと進級してほしいと願っています。

縄とび週間

体育主任

１月２５日（月）～２月１２日（金）までなわとび週間があります。各自で取り組む「なわとびデー」、クラスで取り組む「大なわデー」とあり、中休みに取り組みます。

なわとびには様々な跳び方があります。１つの跳び方を極めたり、多くの跳び方ができるようになったりと、いろいろな取り組み方をすることができます。子どもたちにはぜひ積極的に取り組み、なわとびの楽しさやできたときの達成感をたくさん感じてほしいと思います。

また、なわとびに取り組むことで、体を鍛えることもできます。体力をつけることは病気の予防にも役立ちます。お家でもぜひ取り組んでみてください。

寒さが増すこの時期ですが、外で思い切り運動をして体力をつけ、元気に過ごしてほしいと思います。

席書会

文化的行事委員

今年も、各学年で席書会を行います。書き初めの由来を調べてみると、「正月二日を一年の事始めとし、その年の心構えや抱負などを書き記し、精進すると一年間がうまくいくと言われています。また、習い事などもこの日に始めると、一年間うまくいくとも言われています。全ての事始めの日で、大事なことは正月二日から取り組むぐらいの気持ちがないとうまくいかないという意味もあるようです。」とありました。冬休み中に、思いを込めて練習した成果を、席書会で発揮してほしいものです。

今年度も、保護者会と日程を合わせて、書き初め展を行います。ぜひ、ご来校いただき、子どもたちの心を込めて書いた力作をご覧ください。

【学年の窓から・・・５年生】

１組担任

この子たちに出会って９ヶ月、毎日たくさんの笑いに包まれて過ごしています。とぼけたり、自慢したり…失敗してしまった時もお互いを笑い合える。ユーモア感覚とやさしさのある子どもたちだと感心しています。

ボランティア学習の折、子どもたちに「どんな気持ちで奉仕活動をしていますか」と訊いてみたところ、こんな言葉が返ってきました。「十年間支えられてきたから、今少しでも人の役に立てることが嬉しい。」「笑顔が見たいから働く。」「小さな力だけど、よくなるようにと願う心は大切にしたいと思っている。」・・・1 組のユーモア感覚は他の人の笑顔を喜びと感じるやさしさから生まれるのだと思います。また、今まで家族に温かく見守られ、安心して育ってきたのだなあと感じました。

教室では、失敗も衝突もありますが、今まで通り笑い合って心を通わせていきたいと思います。

２組担任

高学年として生活し始めて、９ヵ月が経ちました。様々な行事、委員会やクラブ活動で、高学年として大きな仕事を任されることがあり、責任をもって取り組むことができています。授業では自ら学ぼうとする姿が多く、「先生、こうするのはどうですか。」と子どもの方から提案があることも。時々、隙があれば笑いをとろうとする子もいて、盛り上げてくれます。そして、また授業にぐっと集中します。また、体育で行った試合の様子を給食中にも見て分析しようとした時に、「放送委員でいない人がいるから、別の日にしましょう。」と、ある子が言いました。一人一人を大事にする心が育ってきていると思いました。今年は最高学年となる年です。２１人みんなで声を掛け合い、お祭りのように盛り上げながら、津久戸のモデル（見本）となれるよう、残り３ヵ月を大切にしていきたいと思います。

１月の生活目標：『きまりよい生活をしよう』

・学習の準備をきちんとしよう。
・忘れ物に気をつけよう。
・生活のリズムをとりもどそう。
・遊びのきまりを守ろう

社会生活の中で、お互いに気持ち良く生活をしていくためには、きまりを守ろうとする姿勢が大切です。学校という集団生活の場も同じです。冬休み明けに学校のリズムを取り戻し、充実した学校生活が送れるように指導していきたいと思います。　（生活指導部）